

Exo

Chapter 37

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וְחָצִי	אֲמֹתַיִם	שָׁטִיִם	עֵצֵי	הָאָרֶן	אֶת־	בְּצִלְאֵל	וַיַּעַשׂ	1
そして-半の	二-キュビトと	アカシヤの	木の	契約の箱を	～を	ベツアルエルは	そして-作った	
H2677		H7848	H6086	H0727	H0853	H1212		
קִמְתּוֹ:	וְחָצִי	וְאֲמָה	רְחִבּוֹ	וְחָצִי	וְאֲמָה	וְאֲרָכּוֹ		
高さの	そして-半の	そして--キュビトと	幅の	そして-半の	そして--キュビトと	長さの		
H6967	H2677		H7341	H2677		H0753		

ベザレルはアカシヤ材の箱を造った。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半、高さは一キュビト半である。

זָהָב	זָר	לּוֹ	וַיַּעַשׂ	וּמְחוּצָא	מִבְּיָת	טָהוֹר	זָהָב	וַיִּצְפְּהוּ	2
金の	縁飾りを	それに	そして-作った	そして-外側を	内側と	純粋な	金で	そして-被せた	
H2091	H2213			H2351		H2889	H2091	H6823	
								סָבִיב:	
								周囲に	
								H5439	

純金で、内そとをおおい、その周囲に金の飾り縁を造った。

וּשְׁתֵּי	פְּעֻמּוֹתָיו	אַרְבַּע	עַל	זָהָב	טְבַעֲת	אַרְבַּע	לּוֹ	וַיִּצְק	3
そして-二つの	脚に	四つの	～の-上に	金の	環を	四つの	それに	そして-鑄造した	
H8147	H6471	H0702		H2091	H2885	H0702		H3332	
הַשְּׁנִיָּת:	צְלָעוֹ	עַל־	טְבַעֲת	וּשְׁתֵּי	הָאֶחָת	צְלָעוֹ	עַל־	טְבַעֲת	
もう一方の	側面の	～の-上に	環を	そして-二つの	一方の	側面の	～の-上に	環を	
H8145	H6763		H2885	H8147	H0259	H6763		H2885	

また金の環四つを鑄て、その四すみに取りつけた。すなわち二つの環をこちら側に、二つの環をあちら側に取りつけた。

זָהָב:	אֹתָם	וַיִּצְרַף	שָׁטִיִם	עֵצֵי	בָרִי	וַיַּעַשׂ	4
金で	それらを	そして-被せた	アカシヤの	木の	棒を	そして-作った	
H2091	H0853	H6823	H7848	H6086	H0905		

またアカシヤ材のさおを造り、金でこれをおおい、

אֶת־	לְשֵׂאתָ	הָאָרֶן	צְלָעָת	עַל	בְּטְבַעֲת	הַבָּרִים	אֶת־	וַיָּבֵא	5
～を	担ぐ-ために	契約の箱の	側面の	～の-上の	環に	棒を	～を	そして-通した	
H0853	H5375	H0727	H6763		H2885	H0905	H0853	H0935	
								הָאָרֶן:	
								契約の箱を	
								H0727	

そのさおを箱の側面の環に通して、箱をかつぐようにした。

אֲרָכּוֹ	וְחָצִי	אֲמֹתַיִם	טָהוֹר	זָהָב	כַּפְרֵת	וַיַּעַשׂ	6
長さの	そして-半の	二-キュビトと	純粋な	金の	贖いの-蓋を	そして-作った	
H0753	H2677		H2889	H2091	H3727		
			רְחִבּוֹ:	וְחָצִי	וְאֲמָה		
			幅の	そして-半の	そして--キュビトと		
			H7341	H2677			

また純金で贖罪所を造った。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半である。

7
הַכִּפֹּרֶת: קצות משני אֹתָם עָשָׂה מְקֻשָּׁה זָהָב כְּרָבִים שְׁנֵי וַיַּעַשׂ
贖いの蓋の 端から 二つの それらを 作った 打ち物で 金の ケルビムを 二つの そして-作った
H3727 H7098 H8147 H0853 H4749 H2091 H3742 H8147

また金で、二つのケルビムを造った。すなわち、これを打物造りとし、贖罪所の両端に置いた。

8
מִן- מִזָּה מְקַצָּה אֶחָד וְכְרוֹב- מִזָּה מְקַצָּה אֶחָד כְּרוֹב-
~から あちらの 端に 一つを そして-ケルビム こちらの 端に 一つを ケルビム
H2088 H7098 H0259 H3742 H2088 H7098 H0259 H3742
הַכִּפֹּרֶת עָשָׂה אֶת- הַכְּרָבִים מְשָׁנִי [קְצוּתוֹ] (קְצוּתוֹ):
贖いの蓋から 作った ~を ケルビムを 二つの 端から 端から 二つの ケルビムを
H3727 H0853 H8147 H3742 H7117 H8147 H3742 H7098

一つのケルブをこの端に、一つのケルブをかの端に置いた。すなわちケルビムを贖罪所の一部として、その両端に造った。

9
עַל- בְּכַנְפֵיהֶם סִכְכִים לְמַעַלָּה כְּנָפִים פְּרָשִׁי הַכְּרָבִים וַיְהִי
~の-上を 翼で 覆っていた 上に 翼を 広げる-者で ケルビムは そして-あった
H3671 H4605 H3671 H6566 H3742 H1961
פָּנֵי הָיוּ הַכִּפֹּרֶת אֶל- אֶחָיו אֶל- אִישׁ וּפְנֵיהֶם הַכִּפֹּרֶת
顔は 向いていた 贖いの蓋に ~に 向かい合っ ~に 互いに そして-顔は 贖いの蓋の
H6440 H1961 H3727 H0413 H0251 H0413 H0376 H6440 H3727
פּ הַכְּרָבִים:
□ ケルビムの
H3742

ケルビムは翼を高く伸べ、その翼で贖罪所をおおい、顔は互に向かい合った。すなわちケルビムの顔は贖罪所に向かっていた。

10
וְאֹמֶה אַרְבֹּי אֲמֹתַיִם שֵׁטִים עֲצֵי הַשִּׁלְחָן אֶת- וַיַּעַשׂ
そして--キュビトの 長さの 二-キュビトの アカシヤの 木の 机を ~を そして-作った
H0753 H7848 H6086 H7979 H0853
רְחֹבּוֹ וְאֹמֶה וְחֲצֵי קְמַתּוֹ:
幅の そして--キュビトと 高さの そして-半の
H7341 H6967 H2677

またアカシヤ材で、机を造った。長さは二キュビト、幅は一キュビト、高さは一キュビト半である。

11
סָבִיב: זָהָב זָר לּוֹ וַיַּעַשׂ טָהוֹר זָהָב אֹתוֹ וַיַּצֵּר
周囲に 金の 縁飾りを それに そして-作った 純粋な 金で それを そして-被せた
H5439 H2091 H2213 H2889 H2091 H0853 H6823

純金でこれをおおい、その周囲に金の飾り縁を造った。

12
לְמִסְנָתוֹ זָהָב זָר- וַיַּעַשׂ סָבִיב טֶפַח מִסְנַת לּוֹ וַיַּעַשׂ
枠の-ために 金の 縁飾りを それに そして-作った 周囲に --手幅の 枠を それに そして-作った
H4526 H2091 H2213 H5439 H2948 H4526

סָבִיב:
周囲に
H5439

またその周囲に手幅の棧を造り、その周囲の棧に金の飾り縁を造った。

13
 אַרְבַּע על אֶת-הַטְּבַעֲת הַזֶּהב טְבַעֲת אַרְבַּע לוֹ וַיִּצַק 13
 四つの ~の-上に 環を ~を そして-付けた 金の 環を 四つの それに そして-鑄造した
 H0702 H2885 H0853 H5414 H2091 H2885 H0702 H3332

הַפֶּאֶת אֲשֶׁר לְאַרְבַּע רַגְלָיו:
 隅に それは 四つの 脚の
 H6285 H0702 H7272

またこれがために金の環四つを鑄て、その四つの足のすみ四か所にその環を取りつけた。

14
 לְעִמַּת הַמִּסְנַרֶת הָיָו הַטְּבַעֲת בְּתִים לְבָדִים לְשֹׂאת אֶת-הַשְּׁלֶחָן:
 ~に-接して 柀に あった 環は 受け口として 棒の-ための 担ぐ-ために ~を 机を
 H5980 H4526 H1961 H2885 H0905 H5375 H0853 H7979

その環は柀のわきにあつて、机をかつぐさおを入れる所とした。

15
 וַיַּעַשׂ אֶת-הַבָּדִים עֵצֵי הַשָּׁמִים שְׁמֵים וַיִּצַּף אֹתָם זָהָב לְשֹׂאת
 そして-作った ~を 棒を 木の アカシアの 木を 金で それらを 担ぐ-ために
 H0853 H0905 H6086 H7848 H0853 H2091 H5375

אֶת-הַשְּׁלֶחָן:
 ~を 机を
 H0853 H7979

またアカシヤ材で、机をかつぐさおを造り、金でこれをおおった。

16
 וַיַּעַשׂ אֶת-וְהַכְּלִים אֲשֶׁר-עַל-הַשְּׁלֶחָן אֶת-קַעְרֹתָיו וְאֶת-כַּפְתָּיו
 そして-作った ~を 器具を 棒を ~の-上の 机の ~を 皿と 匙と
 H0853 H3627 H0853 H7979 H0853 H7086 H0853 H3709

וְאֵת מִנְקֵיתָיו וְאֶת-הַקְּשׂוֹת אֲשֶׁר יִסָּף בָּהֶן זָהָב טָהוֹר:
 杯と 注ぎ-瓶を 注がれる それで 金の 純粋な
 H0853 H4518 H0853 H7184 H2091 H2889

また机の上の器、すなわちその皿、乳香を盛る杯および灌祭を注ぐための鉢と瓶とを純金で造った。

17
 וַיַּעַשׂ אֶת-הַמְּנֹרָה זָהָב טָהוֹר מִקְשָׁה עָשָׂה אֶת-הַמְּנֹרָה וְרִכָּהּ
 そして-作った ~を 燭台を 金の 純粋な 打ち物で 作った ~を 燭台と 台座と
 H0853 H4501 H2091 H4501 H2889 H4749 H0853 H4501 H3409

וְקָנָה וְגִבְעִיָּה כַּפְתָּרִיָּה וּפְרָחִיָּה מִמֶּנָּה הָיוּ:
 そして-幹と 杯と 節と そして-花を それから 出ていた
 H0707 H1375 H3730 H6525 H1961

また純金の燭台を造った。すなわち打物造りで燭台を造り、その台、幹、萼、節、花を一つに連ねた。

18
 וְשֵׁשׁ קָנִים יִצְאִים מִצְדֵּיהָ וְשְׁלֹשָׁה קָנֵי מְנֹרָה מִצְדָּהּ הָאֶחָד
 そして-六つの 枝が 出ていた 両側から 三つの 枝が 側面から 一方の
 H8337 H0707 H3318 H6654 H7969 H7070 H4501 H6654 H0259

וְשֵׁשׁ קָנֵי מְנֹרָה מִצְדָּהּ:
 そして-三つの 枝が 燭台の 側面から もう一方の
 H7969 H0707 H4501 H6654 H8145

また六つの枝をそのわきから出させた。すなわち燭台の三つの枝をこの側から、燭台の三つの枝をかの側から出させた。

19 וְשְׁלֹשָׁה נְבָעִים וּפְרָחַי וְכַפְתָּר הָאֶחָד בְּקִנְיָה מְשֻׁקָּיִם מְשֻׁקָּיִם וְנְבָעִים וְשְׁלֹשָׁה נְבָעִים
杯が 三つの 杯が 三つの 三つの 三つの 三つの 三つの 三つの 三つの
H1375 H7969 H6525 H3730 H0259 H7070 H8246 H1375 H7969

מִן מִן הַיָּצְאִים הַקְּנִיִּים לְשֵׁשֶׁת קַנִּים וְנְבָעִים וְכַפְתָּר אֶחָד בְּקִנְיָה מְשֻׁקָּיִם
~から 出ている 枝に 六つの 同様に 六つの 六つの 六つの 六つの 六つの 六つの 六つの 六つの
H3318 H7070 H8337 H6525 H3730 H0259 H7070 H8246

הַמְּנִרָה:
燭台から
H4501

あめんどうの花の形をした三つの萼が、節と花とをもって、この枝にあり、また、あめんどうの花の形をした三つの萼が、節と花とをもって、かの枝にあり、燭台から出る六つの枝をみなそのようにした。

20 וּבְמִנְרָה אַרְבַּעָה נְבָעִים מְשֻׁקָּיִם מְשֻׁקָּיִם וְכַפְתָּרִיָּה וּפְרָחֶיהָ:
燭台には 四つの 杯が
H4501 H0702 H1375 H8246 H3730 H6525

また燭台の幹には、あめんどうの花の形をした四つの萼を、その節と花とをもたせて取りつけた。

21 וְכַפְתָּר תַּחַת שְׁנֵי הַקְּנִיִּים מִמִּנְהָ וְכַפְתָּר תַּחַת שְׁנֵי הַקְּנִיִּים מִמִּנְהָ
そして-節が 二つの
H3730 H8478 H8147 H7070 H8478 H8147 H7070 H8478 H8147 H7070

וְכַפְתָּר תַּחַת שְׁנֵי הַקְּנִיִּים מִמִּנְהָ לְשֵׁשֶׁת הַקְּנִיִּים הַיָּצְאִים מִמִּנְהָ:
そして-節が 二つの
H3730 H8478 H8147 H7070 H8478 H8147 H7070 H8478 H8147 H3318

また二つの枝の下に一つの節を取りつけ、次の二つの枝の下に一つの節を取りつけ、さらに次の二つの枝の下に一つの節を取りつけ、燭台の幹から出る六つの枝に、みなそのようにした。

22 כַּפְתָּרֵיהֶם וּקְנֵיהֶם מִמִּנְהָ הָיוּ כֻּלָּהּ מִקְשָׁה אַחַת זָהָב טָהוֹר:
節と 枝は
H3730 H7070 H1961 H3605 H4749 H0259 H2091 H2889

それらの節と枝を一つに連れ、ことごとく純金の打物造りとした。

23 וַיַּעַשׂ אֶת־שִׁבְעָה נִרְתִּיָּה שִׁבְעָה וַיִּמְלְקֶיהָ וַיִּמְחַתְתֶּיהָ זָהָב טָהוֹר:
そして-作った 七つの
H0853 H7651 H4457 H4289 H2091 H2889

また、そのともしび皿七つと、その芯切りばさみと、芯取り皿とを純金で造った。

24 כָּכָר זָהָב טָהוֹר עָשָׂה אֶתָּה וְאֵת כָּל־כְּלֵיָּהּ:
キカル金の 純金の 純金の 純金の 純金の 純金の 純金の 純金の 純金の 純金の
H3603 H2091 H2889 H0853 H0853 H0853 H3605 H3627

すなわち純金一タラントをもって、燭台とそのすべての器とを造った。

25 וַיַּעַשׂ אֶת־מִזְבֵּחַ הַקְּטֹרֶת עֵצֵי אַמְתָּיִם אֶמְהָ אַרְכּוֹ:
そして-作った ~を 祭壇を 祭壇を 祭壇を 祭壇を 祭壇を 祭壇を 祭壇を 祭壇を
H0853 H4196 H7004 H6086 H7848 H753

וְאֶמְתָּיִם רְבֹעֵי רָחְבוֹ וְאֶמְתָּיִם קָמָתוֹ מִמִּנְהוֹ הָיוּ קַרְנֵתָיו:
そして-二-キュビトの 正方形で 正方形で 正方形で 正方形で 正方形で 正方形で 正方形で 正方形で
H6967 H7341 H1961

またアカシヤ材で香の祭壇を造った。長さ一キュビト、幅一キュビトの四角にし、高さ二キュビトで、これにその一部として角をつけた。

26

קְרַנְתָּיו	וְאֵת־	סָבִיב	קִירָתָיו	וְאֵת־	גִּבּוֹ	אֶת־	טָהוֹר	זָהָב	אֹתוֹ	וַיַּצֵּף
角を	そして	周囲と	壁と	そして	上面と	～を	純粋な	金で	それを	そして-被せた
	H0853	H5439	H7023	H0853	H1406	H0853	H2889	H2091	H0853	H6823

וַיַּעַשׂ	לּוֹ	זָר	זָהָב	סָבִיב:
そして-作った	それに	縁飾りを	金の	周囲に
		H2213	H2091	H5439

そして、その頂、その周囲の側面、その角を純金でおおい、その周囲に金の飾り縁を造った。

27

וּשְׁתֵּי	טְבֻלֹת	זָהָב	עָשָׂה־	וְלֹ	מִתַּחַת	לְיָרֵוֹ	עַל	שְׁתֵּי	צְלַעְתָּיו
そして-二つの	環を	金の	作った	それに	下に	縁飾りの	～の-上に	二つの	側面に
	H2885	H2091			H8478	H2213		H8147	H6763

עַל	שְׁנֵי	צְדָיו	לְבַתִּים	לְבָרִים	לְשֵׂאת	אֹתוֹ	בָּהֶם:
～の-上に	両方の	側に	受け口として	棒の-ための	担ぐ-ために	それを	それらで
	H8147	H6654		H0905	H5375	H0853	

また、その両側に、飾り縁の下に金の環二つを、そのために造った。すなわちその二つの側にこれを造った。これはそれをおおひさおを通す所である。

28

וַיַּעַשׂ	אֶת־	הַבָּרִים	עֲצֵי	שֵׁטִים	וַיַּצֵּף	אֹתָם	זָהָב:
そして-作った	～を	棒を	木の	アカシヤの	そして-被せた	それらを	金で
	H0853	H0905	H6086	H7848	H6823	H0853	H2091

そのさおはアカシヤ材で造り、金でこれをおおった。

29

וַיַּעַשׂ	אֶת־	שָׁמֶן	הַמְשֻׁתָּה	קָדְשׁ	וְאֵת־	קַטְרֹת	הַסּוּמִים	טָהוֹר	מַעֲשֵׂה	רִקְחָ:
そして-作った	～を	油を	注ぎの	聖なる	そして	香を	香料の	純粋な	仕事の	調査者の
	H0853	H8081		H6944	H0853	H7004	H5561	H2889	H4639	H7543

פ
□

また香料を造るわざにしたがって、聖なる注ぎ油と純粋の香料の薫香とを造った。